

# 総務文教 常任委員会 付託

議案第42号 江田島市立学校設置条例の一部を改正する条例案について

## 継続審査議案の審議

### 三高中学校について考える

#### これまでの経緯

令和7年3月末で三高中学校を廃校とし、4月から能美中学校へ統合する旨の議案が2月29日の本会議に上程され、総務文教常任委員会に付託されました。3月14日の本会議で、総務文教常任委員会の閉会中の継続審査の申し出が承認され、同委員会で参考人への意見聴取スケジュール等を協議しました。4月12日から5月28日にかけて委員会を7回開催し、参考人から意見を聴取するとともに、委員間で協議を重ねました。

**💡**平成21年6月、江田島市学校統合検討委員会で、三高中学校は、能美中学校の新校舎建設の時期を別途に能美中学校へ統合する方針が示されています。

旧三高中学校校舎は現行の耐震基準に適合しておらず、令和6年4月1日から三高小学校校舎内に移転しています。



三高小学校／三高中学校

#### 👂 参考人からこんな意見をいただきました

**地元自治会、三高中学校PTA、三高小学校PTA**

**反対** 中学校がなくなると、地元が寂れる。

**賛成** 一日も早い統合に賛成。

**反対** 他の地区から来てもらうなどして、残してほしい。

**賛成** 大人数になれば学べる幅が広がる。

**反対** 少人数のメリットもあると思う。

**賛成** たくさんの方々と触れ合って社会性を身に付けてほしい。

**反対** 三高中学校に通いたいという生徒がいる限りは残してほしい。

**反対** 令和7年度という統合時期に反対。

**意見** 保護者の意見や同意を尊重してほしい。

**意見** 統合後の学校運営・通学等に不安がある。

**意見** 教育委員会が説明会等で信頼できない。



4/26 意見聴取の様子



#### 👥 教育委員会の考え方

**Q** PTAからの質問に対し、的確な応答をしていないと感じるが。

**A** 質問は不登校や学力等への不安など、明確に答えられないものが多く、不安解消に至らなかったものと考えます。

**Q** 今まで統合には2年かかるとの説明であったが。

**A** 令和4年度の時点で、先々の生徒数見込みから令和7年度統合案を示したもので、学校運営の観点から見ても、令和7年度が限界であると感じています。

**Q** 教育委員会が、地域の方から不信感を持たれていることについてどう捉えているか。

**A** 長期にわたり懇話会等を通じて、資料説明やPTAからの質問に対し回答するなど努めてきましたが、そうしたご意見は、真摯に受け止めたいと思います。

#### 👥 教育委員の意見

**Q** 教育委員に統合反対の意見はあったか。

**A** 全員が統合すべきとの結論です。今の教育には、一人一人の意見をそのまま通すのではなく、協議してより良いものをつくっていく協働的な学びが求められています。

**Q** 統合時期についてはどうか。

**A** 協働的な学び、対人関係ということを考えて場合、令和7年度が適当と判断しました。

#### 👥 委員会の意見

● 生徒数を考えると統合はやむを得ない。

● 地元の不安の払拭に努めなければならない。

● 覚書の締結がないまま議案が提出されたことについて反対。

● ことも同士や家族、地域の方々が悩むことなく、誰にも遠慮することなく中学校に進学できることが望ましい。

● 教育の質と財政面から、地域持続の可能性について考えるべき。

#### 付託議案の採決

#### 議案について可決すべき

5団体から参考人として意見聴取を行い、各団体からの意見や思いはあるものの、生徒数が減少し、集団生活が困難になる恐れから、教育環境の早急な整備は重要であると判断しました。生徒にとって、学習や部活動を通して多様な価値観に触れ、社会性を育んでいくことは将来にとって極めて重要なこととなると考えます。

一方で、地元関係者の積年の鬱積した思いから、行政との信頼関係が損なわれ、この問題が長期化および複雑化しており、今後、三高の地域住民との良好な関係を築けるよう、執行部に要望しました。



5/28委員会採決の様子